

大友頼泰公生誕八百年祭

開催報告

主催／NPO 法人大友氏顕彰会・

共催／NHK大河ドラマ「大友宗麟」誘致推進協議会

協賛／現地世話人 足立義弘

協力／NPO 法人大分県ウオーキング協会

日時／令和 5 年 3 月 5 日(日) 10:30～11:30

会場／常楽寺本堂 駐車場・大友霊苑駐車場

プログラム 司会＝若杉孝宏・大友氏顕彰会副理事長

オープニング 歌唱「大友宗麟」：原川二郎

10:30 式典 主催者あいさつ 牧達夫大友氏顕彰会理事長

趣旨と頼泰公の解説

世話人あいさつ 足立義弘

10:55 常楽寺住職の読経／関係者代表焼香

11:05 来賓あいさつ

大分市副市長 久渡 晃 様

大分市教育長 佐藤 光好 様

大分県議会議員 麻生 栄作 様

大分市文化財課長 坪根 伸也 様

道雪の里・絆ネット代表 岡村 哲也 様

11:20 頼泰公墓お参り 11:30 解散

頼泰公概説

嘉禎 2(1236)年、父親秀より家督譲与、父親秀と共に京都六波羅に居て京と鎌倉を往復する仕事に従事した。20 歳の時、豊後府内で新御成敗条を發布。これは北条泰時の御成敗式目に倣ったもの。地方大名で唯一。文永9(1272)年、蒙古軍襲来の危機に幕命(8 代執権時宗)により豊後下向、鎮西東方奉行(指揮官)として少貳氏と共に文永(1274 年)の役で元軍を阻止した。以降豊後に土着、勝津留に居を定め(高国府)、叔父や弟たちの協力を得て大友氏 400 年の基礎固めをした。

【略歴】

◎生年／貞応元(1222)年、大友氏 2 代親秀(母・佐原(三浦)家連娘)嫡男として生まれる

◎名前／幼名・薬師丸、初名・泰直(執権北条泰時、祖父能直の偏諱)→頼泰(執権時頼の偏諱)

◎死没／正安 2(1300)年 9 月 17 日・改名・常楽寺殿道忍

◎官位／従五位、大炊介、式部大夫、出羽守、丹後守、兵庫頭

◎兄弟／(頼泰同母弟)戸次重秀、田北親泰、(側室弟)野津原能泰、挾間直重、野津頼宗、木付親重、親盛(早世)。妹たち 4 人の母は(二条親兼の娘で太政大臣通光の妻)殿上人の娘で、親秀の後室となり、その娘たちは准后や神祇官など皇族・公家の妻室および母となる

◎子／泰能(早世)、親時(4 代)、親吉、北条宗頼室、貞親(5 代・異説あり)

◎墓所・菩提寺／大分市岡川、常楽寺

当日は上記のように事前にお知らせしたプログラムで進行した。参加人数は約 80 名。内訳は地元の檀家の方 20 数名、大友氏顕彰会及び来賓 20 名弱、大分県ウォーキング協会 40 名弱。参加者の中に栃木県小山市から須郷さんという「大友田北一族」の末裔も参加され、主催者として感激している。

今までも大友氏に関する催しで、時々大友一族の末裔と称する方がいるにはいたが、単発の紹介に終わっており、組織化して地元の活動と連携させることが重要だと痛感している。

また、この機に大分市文化財課にお願いしていた「大友頼泰の墓」表示板が新しくなっており、面目を一新した。



大分市ウォーキング協会会員と一般参加者



会場の常楽寺(左)

オープニングで歌唱披露する原川二郎氏





右上:あいさつする足立義弘大分市議会議員

左は墓地で説明する本人

下:主催者の牧達夫理事長を囲んで関係者

